

- ◆ BOT（ボット。ロボットの略称。SNS上で自動的につぶやく、又はチャットに自動で答えるアカウント及びそのプログラム）を活用し、県内イベント情報を能動的に情報収集できていない人たちに対して情報発信（展開）・拡散を行います。
- ◆ イベント間、主催者間の情報共有、コラボレーションを誘発し、人の交流を促し、イベントの多角的な展開をさせ、滞在時間、期間を最大化します。
- ◆ SNSによる効果的な周知・集客を進める情報収集・発信プラットフォームを構築し、新潟の魅力ある街をより知ってもらうと共に、次のアクションに向けての情報収集をする。



- ◆ 新潟県内では魅力的なイベントが数多く開催されているが、このイベント情報の「収集」「発信」「(イベント間の)交流」が十分になされていない。

収集

- 中小規模のイベントは能動的な情報収集をしないと見つけづらい。意識無意識に関わらず効率的に情報が得られる仕組みが求められる。

発信

- 県外のみならず県内でも十分な認知がされていない。
- 魅力的なイベントでも全国的な広告展開もできず、集客に限界がある。

交流

- 近いエリア、期間でのイベント情報が個別に発信されており、「点」での開催に留まる。イベント間の交流を促し「点」から「線」「面」と展開させ、滞在時間、期間を最大化することが望ましい。

がたぼっと(BOT) 【イベントインフルエンサー】

◆【対象・サービス概要】

能動的に情報を収集できていない人たちに情報発信（展開）・拡散を行う。
イベント間、主催者側間の情報共有、コラボ誘発、効果的な周知、集客につなげる。
情報発信できなかったところが情報発信できるようになる。

◆【価値（効果）】

集客増、交流人口増による地域経済の活性化

◆【サービス提供】

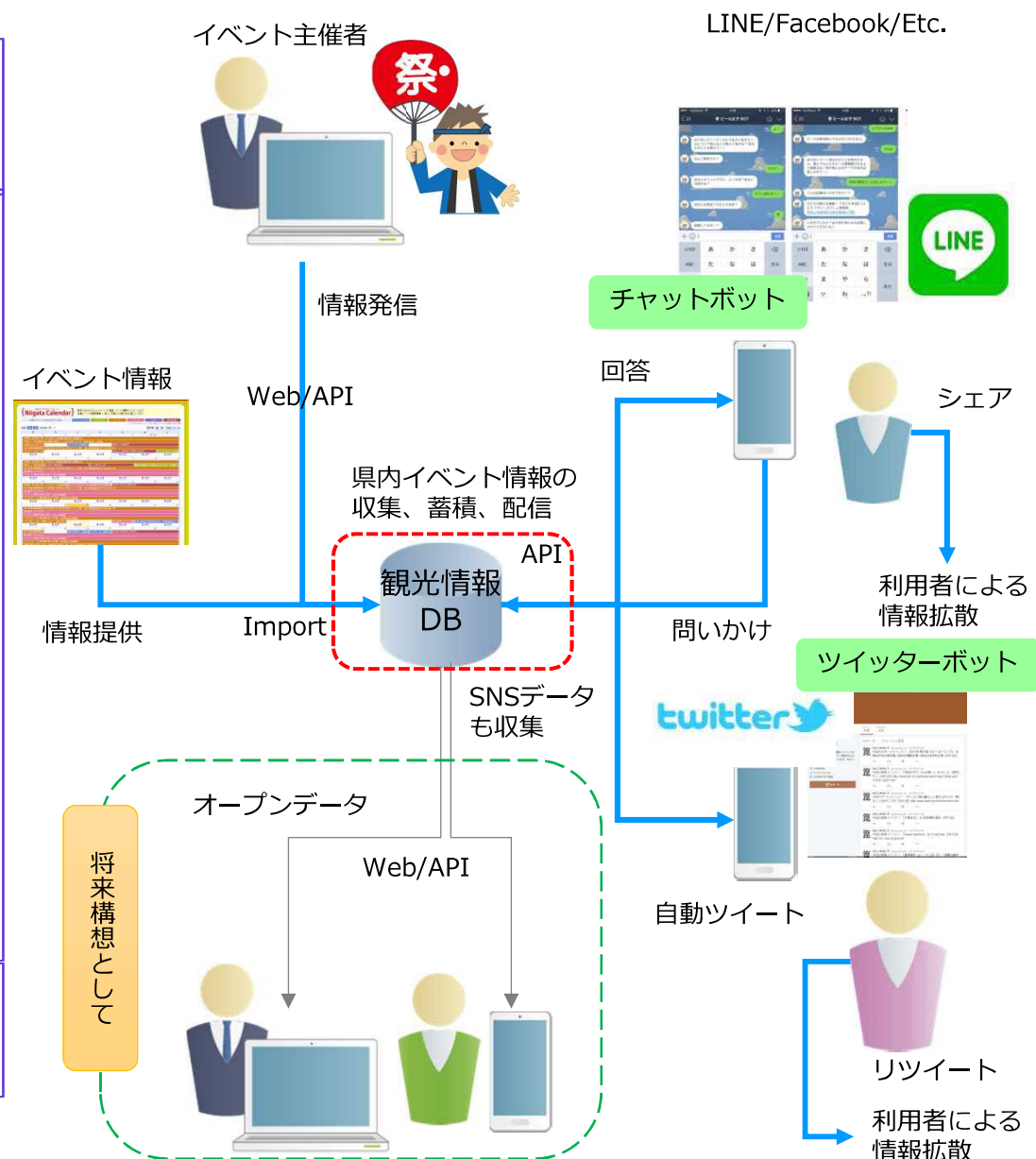
イベント情報の入力、収集
上記と紐付けたSNS情報収集プラットフォーム

◆【運営費等】（将来的構想）

広告費、会員・組合費等による運営

■【最終的な目的】

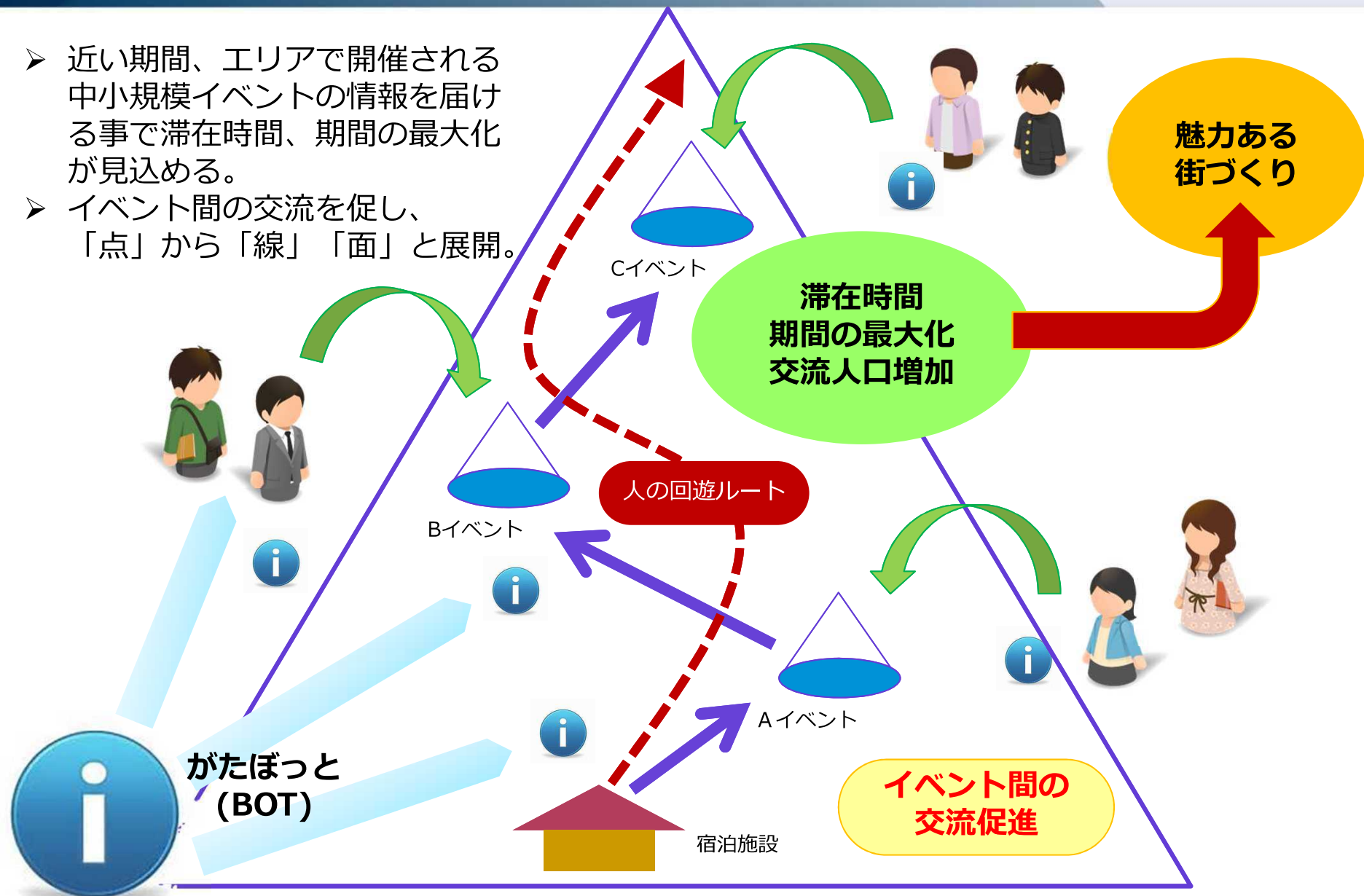
新潟全体として魅力ある街づくりへの貢献



- ◆ 県内のイベントが各地で開催されているが、情報の展開が十分とは言い難い現状があります。そこで、BOT（ボット。ロボットの略称。SNS上で自動的につぶやく、又はチャットに自動で答えるアカウント及びそのプログラム）を活用し、能動的に情報収集できていない人たちに向けた情報発信（展開）・拡散を行い、イベント間、主催者間の情報共有、コラボレーションを誘発します。その効果的な周知・集客を進める情報収集・発信プラットフォームを構築するものです。
- ◆ 情報発信できていなかったところが情報発信できるようにもなり、集客増から経済波及効果を導き出すことが可能です。
- ◆ 県内に限らず、県外からの交流人口の拡大により、更なる新潟全体の魅力ある街づくりに寄与させることを目指します。

- ◆ イベント情報を登録するだけで、SNS上で情報が周知、拡散される。
- ◆ SNSという媒体を利用することで、情報の共有が容易で拡散しやすく、広告では届かない顧客にも情報提供ができる。
- ◆ 特定のエリアに限定した情報提供ではないため、広く周知ができる。
- ◆ SNSのデータを用いて情報の拡散状況が分析可能。マーケティングに活用が期待される。
- ◆ 大規模イベントを目的とした観光客に対し、近い期間、エリアで開催される中小規模イベントの情報を届ける事で滞在時間、期間の最大化が見込める。
- ◆ これまで届けられていなかった顧客への情報提供を通じての集客のみならず、イベント間、主催者間での交流、コラボレーションの促進にもつながる。

- 近い期間、エリアで開催される
中小規模イベントの情報を届ける
事で滞在時間、期間の最大化
が見込める。
- イベント間の交流を促し、
「点」から「線」「面」と展開。



【新規性】

- ◆ BOT（ボット。ロボットの略称。SNS上で自動的につぶやく、又はチャットに自動で答えるアカウント及びそのプログラム）を活用。
- ◆ 将来的にAIの活用にも繋がる（対話型AI、自然言語解析）。
- ◆ デジタルマーケティングの自動化。








【実現性】

- ◆ 新たにアプリを作成、配信するのではなく、既に広く行き渡っているSNS上で展開する。
- ◆ イベント情報は公開情報として収集も容易。
- ◆ SNSに不慣れなどの主催者側の情報発信力に関わらず、情報の拡散につながる。

【モデル性】

- ◆ SNSは情報の拡散状況などデータ収集がし易い。データ分析を通じビジネスチャンスに繋げることが可能。
- ◆ チャットBOTは双方向性が高く、想定にもとづく個人属性に関する情報の取得が可能。より個人に近いターゲティング広告が可能になる。
- ◆ BOTは今後広くマーケティング分野で活用される事が見込まれる。また、イベントに限らず利活用範囲が進むことが見込まれる。

◆ 以下の内容で円滑な事業推進を進めます。

| 作業内容 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------|---|--|---|---|---|---|----|
| 調査・設計・事前準備 |  | | | | | | |
| 設計 |  | | | | | | |
| アプリ開発 | |  | | | | | |
| テスト | | | |  | | | |
| イベント情報収集 | | |  | | | | |
| 実証事業 | | | | |  | | |
| 実証事業報告書作成 | | | | | |  | |